

ひと足早くパソコンのお掃除

ほこりは故障のもと ■掃除機で吸い取ろう

大掃除は年末にするものですが、パソコンには静電気という問題があります。本州の太平洋側など真冬に乾燥する地域は、一足早く秋のうちに大掃除してしまいましょう。特に取り除きたいのはほこり。パソコンは冷却のために空気を流すため、内部だけでなく、表面の端子やコンセント、周辺にほこりがたまりやすく、故障の原因になります。(ライター 猪狩友則)

てくらの生活入門

パソコンを見ると、まず指紋など表面に付着した汚れが目につきますが、それらが機能・性能に悪影響を及ぼすことはほとんどありません。日常の掃除でサッとふき取ってしまいましょう。

問題は、各所にたまったほこりです。パソコンは発熱が多いので、冷却するために空気が流れるようになっていきます。半面、外部にはプリンターや通信回線、フラッシュメモリーをつないだり装着したりする端子類が、内部には複雑な形の部品が多く、非常にほこりがたまりやすいのです。

つまりパソコンの掃除は、たまったほこりをいかに取り除くかが重要といえます。

パーツの取り外し方がわかっている自作ユーザーなら、分解

してほこりを取り除くのも手。

もちろん、ハードディスクなどのように、動く部分のある部品の取り扱いは要注意です。メーカー製パソコンを使っている場合も、内部の増設経験などがあり、自信を持っている人は、ケースを開いて掃除してもよいでしょう。

とはいえ、そこまでできる人は少数派のはず。掃除機でほこりを取り除く程度でも、やる意味は十分あります。



注意したいのは、パソコンの内部にいくつ

かある冷却ファンやヒートシンクのはこり。はげなびと

なぞりながら、掃除機で吸い込むのがおすすめです。ファンは、CPUやグラフィックカードを冷やすために取り付けられています。実際、ほこりのせい

で十分に冷却できないと、勝手に電源が切れたり、画面が乱れたりするなど、熱暴走と呼ばれるトラブルが起きる場合があります。

ケースを開ける自信のない人は外側を掃除しましょう。デスクトップの場合は、背面にファンがあることが多いので、その周辺を中心に、掃除機でほこりを吸い取っていきます。

端子のうち、使っていないものにもほこりがたまりがち。特にUSBやIEEE1394(エリンク)などの端子には、ほこりがビッシリたまっていることがあります。これらもほこりなどを使いながら、掃除機で取り除くとよいでしょう。

掃除をするときは、必ずパソコンをシャットダウンし、電源プラグをコンセントから抜いておきます。コンセントの部分もほこりがたまりやすいので、たまには抜いて掃除をしておくとういでしょう。

可能なら、パソコンや周辺機器に接続されているケーブル類を一度すべて抜き、掃除機をかけ、配線し直しましょう。配線をし直すと、ケーブルの取り回しがスッキリし、空気の通りも

よくなります。意外と使っていないケーブルが残っていた、なんてこともあります。

この時期の大敵は静電気。パソコン内部は電子機器の集合体なので、静電気は要注意です。地方によっては湿度が非常に低くなり、静電気が発生しやすくなります。そのうえ厚着をするので、衣類の組み合わせによっては、さらに静電気がたまりやすくなります。

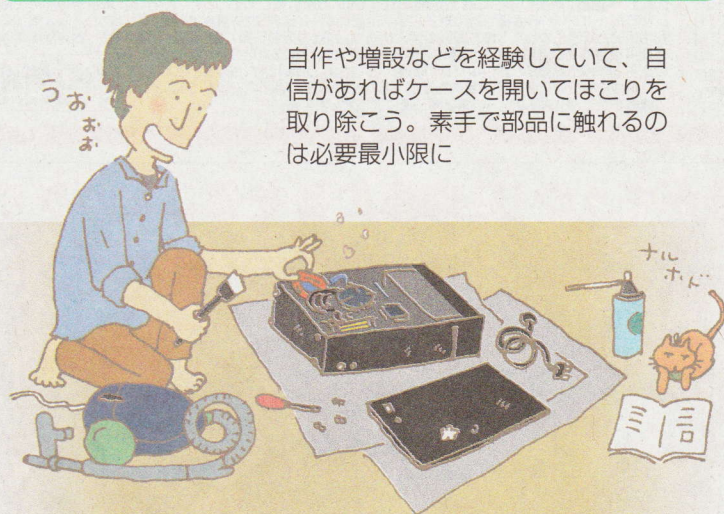
もちろん、ケースを開かなければ、静電気が問題になることはほとんどありません。しかし、ケースを開けてほこりを取るときは注意が必要です。事前に静電気を体から逃がしても、作業中に静電気がたまってしまった場合は意味がありません。体から電気を逃がしながら作業することが大切です。畳やフローリングなどに直接、肌の一部を接しながら作業するだけでも静電気はたまりづらくなります。また暖かい部屋で加湿器などを使って十分に湿度を上げた状態で作業をするとういでしょう。ウールのセーターなど、静電気の発生しやすい衣服を着ながらというのは絶対に避けましょう。



もちろん、ケースを開かなければ、静電気が問題になることはほとんどありません。しかし、ケースを開けてほこりを取るときは注意が必要です。事前に静電気を体から逃がしても、作業中に静電気がたまってしまった場合は意味がありません。体から電気を逃がしながら作業することが大切です。畳やフローリングなどに直接、肌の一部を接しながら作業するだけでも静電気はたまりづらくなります。また暖かい部屋で加湿器などを使って十分に湿度を上げた状態で作業をするとういでしょう。ウールのセーターなど、静電気の発生しやすい衣服を着ながらというのは絶対に避けましょう。

よくなります。意外と使っていないケーブルが残っていた、なんてこともあります。

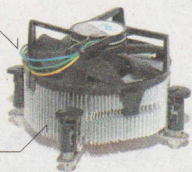
自信があればケースを開いて



自作や増設などを経験して、自信があればケースを開いてほこりを取り除こう。素手で部品に触れるのは必要最小限に

冷却ファン

ヒートシンク



冷却ファンとヒートシンク

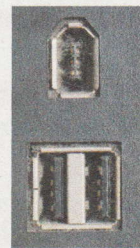
CPUの熱はヒートシンクに伝わり、それをファンからの風で冷やす。ファンだけでなくヒートシンクにもほこりはつまりやすい

内部を開けなくても外から

背面からファンの部分、および端子部分だけでも掃除機でほこりを吸っておこう。ファンのほこりは、偏りがないように吸い取りたい



端子部分のほこりに注意



使っていない端子にはほこりがたまりやすい

静電気に気を付けながら掃除しよう

静電気の発生しやすい服の組み合わせは避けよう。ウールのセーターにアクリルのインナー、あるいはナイロンとポリエステルを着合わせるのもよくない



できれば、直接皮膚が床（フローリングや畳）などに接した状態で静電気を逃がしながら作業をしたほうが良い

部屋の温度は上げて、加湿器があるなら十分加湿する

感電などを防ぐためコンセントは抜いておく